

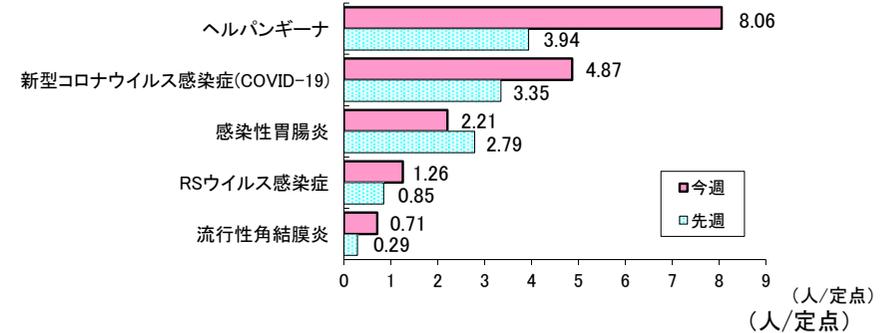


**【第27週の発生動向】**

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

- ヘルパンギーナは、県全体で2.0倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、秋田中央、由利本荘、大仙で増加、能代で同規模、横手、湯沢で減少しています。
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、県全体で1.5倍に増加しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、由利本荘、大仙、湯沢で増加、横手で同規模、大館、北秋田、能代で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で21%減少しています。保健所別では、大館、北秋田、由利本荘、横手で増加、秋田市、能代、秋田中央、大仙、湯沢で減少しています。

秋田県の定点医療機関における上位5疾患の発生規模



<定点把握対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減			
インフルエンザ	0.02	0.10	↗		0.18	↗							0.75	↗	0.17		↘													
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	3.35	4.87	↗	4.45	7.55	↗	2.00	1.33	↘	3.00	2.67	↘	2.25	1.00	↘	2.67	7.00	↗	3.83	4.50	↗	4.57	7.00	↗	3.20	3.20		2.00	4.00	↗
RSウイルス感染症	0.85	1.26	↗	2.57	3.71	↗	1.25	1.25								1.00	2.25	↗	0.50	0.75	↗									
咽頭結膜熱	0.35	0.12	↘	0.71	0.29	↘	0.50		↘										1.25	0.25	↘							0.33	↗	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.47	↘	0.71	0.86	↗	0.25	0.50	↗						0.50	0.25	↘	0.25		↘	1.25		↘	1.33	2.00	↗	0.33	0.33		
感染性胃腸炎	2.79	2.21	↘	6.43	5.71	↘	1.00	1.50	↗	1.00	1.50	↗	7.33	3.67	↘	0.50		↘	0.50	1.25	↗	2.00	0.50	↘		1.33	↗	3.33	1.33	↘
水痘	0.06	0.15	↗		0.29	↗		0.25	↗					0.33	↗				0.25	0.25							0.33		↘	
手足口病	0.29	0.50	↗	0.29	0.14	↘									0.50	1.25	↗	1.50	1.00	↘		1.50	↗		0.33	↗				
伝染性紅斑	0.03		↘																0.25		↘									
突発性発しん	0.35	0.24	↘	0.71	0.57	↘	0.25		↘	0.50	0.50				0.25		↘	0.75	0.25	↘	0.25	0.50	↗							
ヘルパンギーナ	3.94	8.06	↗	11.57	15.71	↗		0.50	↗	0.50	4.50	↗	1.00	1.00		0.75	2.50	↗	3.75	26.75	↗	5.75	7.50	↗	2.00	1.00	↘	0.67		↘
流行性耳下腺炎																														
川崎病	0.06		↘	0.14		↘										0.25		↘												
急性出血性結膜炎		0.14	↗							*	*		*	*		*	*								1.00	↗	*	*		
流行性角結膜炎	0.29	0.71	↗	0.33		↘				*	*		*	*		1.00	5.00	↗									*	*		
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎		0.13	↗								1.00	↗			*	*														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*														

(注) ・表の数値は、定点医療機関から報告された患者報告数を定点医療機関数で除した値(定点あたり患者報告数)を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。  
 ・今週の保健所別患者報告数、定点医療機関数などは2ページに掲載しています。  
 ・「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



**【第27週の保健所別報告数】**

**<患者報告数>**

定点種別	疾患名	秋田県		秋田市		大館		北秋田		能代		秋田中央		由利本荘		大仙		横手		湯沢	
		患者報告数	定点あたり患者報告数																		
インフルエンザ／COVID-19定点	インフルエンザ	5	0.10	2	0.18					3	0.75										
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	253	4.87	83	7.55	8	1.33	8	2.67	4	1.00	42	7.00	27	4.50	49	7.00	16	3.20	16	4.00
小児科定点	RSウイルス感染症	43	1.26	26	3.71	5	1.25							9	2.25	3	0.75				
	咽頭結膜熱	4	0.12	2	0.29											1	0.25			1	0.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.47	6	0.86	2	0.50					1	0.25					6	2.00	1	0.33
	感染性胃腸炎	75	2.21	40	5.71	6	1.50	3	1.50	11	3.67			5	1.25	2	0.50	4	1.33	4	1.33
	水痘	5	0.15	2	0.29	1	0.25			1	0.33			1	0.25						
	手足口病	17	0.50	1	0.14									5	1.25	4	1.00	6	1.50	1	0.33
	伝染性紅斑																				
	突発性発しん	8	0.24	4	0.57					1	0.50					1	0.25	2	0.50		
	ヘルパンギーナ	274	8.06	110	15.71	2	0.50	9	4.50	3	1.00	10	2.50	107	26.75	30	7.50	3	1.00		
	流行性耳下腺炎																				
川崎病																					
眼科定点	急性出血性結膜炎	1	0.14					*	*	*	*	*	*					1	1.00	*	*
	流行性角結膜炎	5	0.71					*	*	*	*	*	*	5	5.00					*	*
基幹定点	細菌性髄膜炎											*	*								
	無菌性髄膜炎											*	*								
	マイコプラズマ肺炎	1	0.13					1	1.00			*	*								
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)											*	*								
	感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)											*	*								

\* 定点あたり患者報告数(人/定点)は、1週間(月～日曜日)のうち定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。

・「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は当該週における患者の報告がなかったことを示します。

**<定点医療機関数>**

定点種別	秋田県	秋田市	大館	北秋田	能代	秋田中央	由利本荘	大仙	横手	湯沢
インフルエンザ／COVID-19定点	52	11	6	3	4	6	6	7	5	4
小児科定点	34	7	4	2	3	4	4	4	3	3
眼科定点	7	3	1	0	0	0	1	1	1	0
基幹定点	8	1	1	1	1	0	1	1	1	1



<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	1週-26週		27週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	6735	30	4
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	1		
	細菌性赤痢	17		
	腸管出血性大腸菌感染症	1099	6	
	腸チフス	21		
	バラチフス	6		
四類	E型肝炎	308	2	1
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	29	1	
	エキノкокクス症	6		
	エムボックス	180		
	黄熱			
	オウム病	5		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	10		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシオイデス症	1		
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	83		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			
	チクングニア熱	2		
	つつが虫病	104	6	
	デング熱	34		
	東部ウマ脳炎			
鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)				
ニパウイルス感染症				

類型	疾患名	1週-26週		27週
		全国	秋田	秋田
四類	日本紅斑熱	144		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症			
	マラリア	8		
	野兔病			
	ライム病	6		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
五類	類鼻疽			
	レジオネラ症	976	6	1
	レプトスピラ症	4		
	ロッキーマウンテン紅斑熱			
	アメーバ赤痢	245		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	130	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	880	11	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	25		
	急性脳炎	248		
	クリプトスポリジウム症	4		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	76		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	417	3	
	後天性免疫不全症候群	474	1	
	ジアルジア症	24	1	
侵襲性インフルエンザ菌感染症	249	3		
侵襲性髄膜炎菌感染症	9			
侵襲性肺炎球菌感染症	934	9	1	
水痘(入院例に限る)	191	2		
先天性風しん症候群				
梅毒	7448	19	2	
播種性クリプトコックス症	91	1		
破傷風	44			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	73			
百日咳	419	6	1	
風しん	8			
麻しん	21			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	9			

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が能代保健所管内から1人、大仙保健所管内から2人、横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のE型肝炎が秋田市保健所管内から1人、レジオネラ症が秋田中央保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が由利本荘保健所管内から1人、梅毒が秋田市保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から1人、百日咳が横手保健所管内から1人、報告されました。

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

管轄保健所	施設種別	報告日	有症者数			把握期間	主な症状	備考
			利用者(園児、入所者等)	職員	計			
湯沢	教育・保育施設	7/5	35名のうち19名	16名のうち0名	19名	6/26～7/5	発熱、鼻汁、咳、咽頭痛	5名溶連菌感染症、1名アデノウイルス感染症、1名ヘルパンギーナと診断

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生報告は4ページに、ヘルパンギーナの集団発生報告は5ページに掲載しています。

※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。



### 2023年度 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)情報

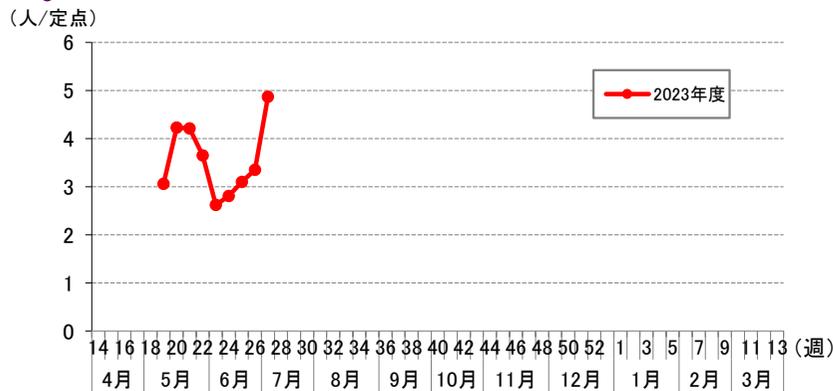


図1 秋田県におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

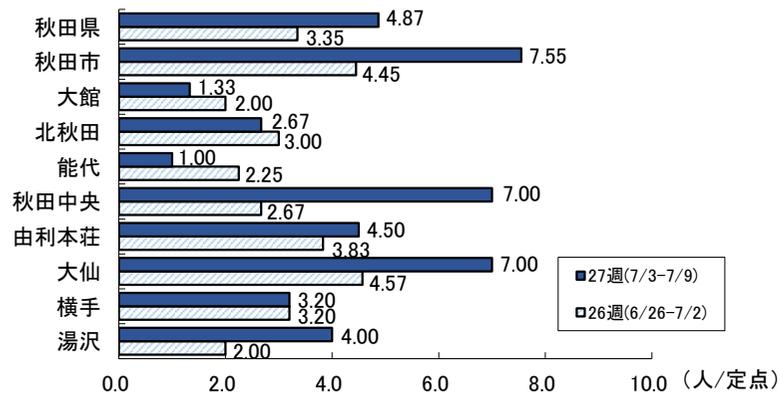


図2 秋田県各保健所におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

### 社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生状況

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生報告が1件ありました。

No	管轄保健所	施設種別	報告日	感染者数(疑い含む)			把握期間	主な症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	大仙	高齢者施設	7/6	29名のうち 7名	18名のうち 3名	10名	7/1 ~ 7/6	発熱、咳、咽頭痛

【2023年度(5月8日～)の累計報告数】 32施設(教育・保育施設3、社会福祉施設5、高齢者施設20、医療機関4)

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。

- ・定点あたり患者報告数は、1週間のうち(月～日曜日)定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。
- ・保健所別患者報告数、定点医療機関数は2ページに掲載しています。



## 2023年度 ヘルパンギーナ情報

### ヘルパンギーナが警報レベルを超えました

ヘルパンギーナは、エンテロウイルスを原因とするウイルス性咽頭炎で、代表的な夏かぜの1つです。秋田県では、今年は6月中旬から定点あたり患者報告数が増加し、第27週には秋田県全体で8.06と警報レベルの6.00を超えました(図1)。県全体で警報レベルを超えたのは、2001年以来となります。特に、由利本荘保健所管内が先週(3.75)の約7倍の定点あたり患者報告数26.75と多くなっています(図2)。教育・保育施設等での集団発生事例も第27週現在で10件報告されています。今後さらに流行が拡大する可能性がありますので、注意が必要です。

#### ■症状

- ・40℃近い高熱とともにのどや口腔に痛みを伴う水疱性の発疹が現れます。
- ・患者の多くは1週間程度で回復しますが、中には無菌性髄膜炎などを併発する場合があります。

#### ■予防のポイント

- ・手洗いが有効です。便には、回復後も2～4週間、ウイルスの排出が続くため、特にトイレ後やおむつ交換後の手洗いはしっかり行いましょう。

- ⚠ のどの強い痛みにより飲食が困難な場合は、脱水症状などを起こさないように注意しましょう。
- ⚠ 意識障害などの重い症状が見られたら、速やかに医療機関を受診してください。

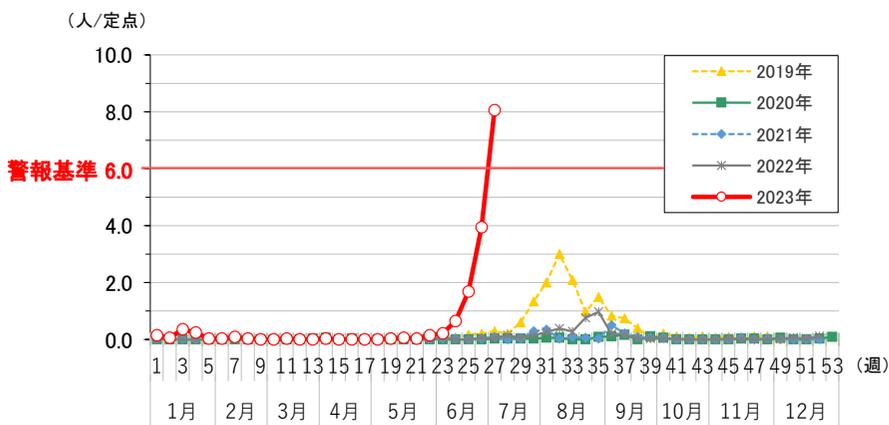


図1 秋田県におけるヘルパンギーナの定点あたり患者報告数

## ヘルパンギーナの集団発生状況

ヘルパンギーナの集団発生報告が3件ありました。

No	管轄保健所	施設種別	報告日	有症者数			把握期間	主な症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	秋田中央	教育・保育施設	7/4	123名のうち10名	43名のうち0名	10名	6/25～7/4	発熱
2	秋田中央	教育・保育施設	7/7	122名のうち15名	35名のうち0名	15名	6/27～7/7	発熱
3	由利本荘	教育・保育施設	7/7	71名のうち27名	27名のうち0名	27名	7/3～7/7	発熱

【2023年度の累計報告数】 10施設(教育・保育施設10)

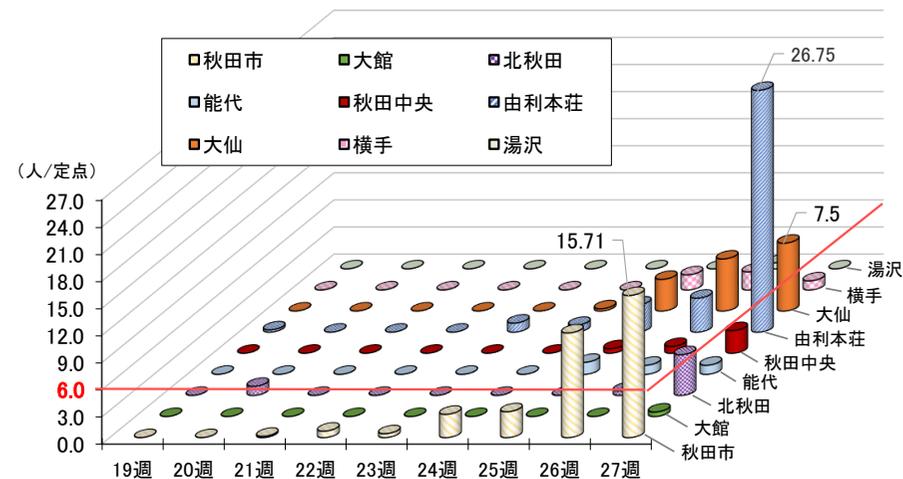


図2 ヘルパンギーナの保健所別定点あたり患者報告数



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
ヘルパンギーナ	-	秋田市(15.71)、由利本荘(26.75)、大仙(7.50)
急性出血性結膜炎	-	横手(1.00)

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		